

守口市立図書館指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口市立図書館

【指定管理者名】 図書館流通センター・大阪ガスビジネスクリエイト・長谷エココミュニティ共同事業体

【評価対象年度】 令和6年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント

来館者数、図書貸出冊数、図書貸出件数は増加傾向であり、蔵書冊数についても拡充が図られ、事業計画の目標値を達成。また、生涯学習施設も利用者数が増加しており、指定管理者自身の広報活動やイベント等が施設の利用促進に貢献している点が評価できる。しかしながら、3階貸室については、利用率が昨年度を下回っており、目標値を達成していないため、引き続き複合施設の強みを生かした多彩なイベントや講座を実施することにより、認知度の向上及び利用率の上昇を図られたい。

利用者アンケートについては、設置場所の変更や設置箇所の増設等、アンケート取得方法の改善を図っている点は評価できる。結果について、おおむね良好な回答を得られているが、電子図書館についてはその他の項目に比べ不満足と回答する割合が高いことから、原因の分析を行い、利用者満足度の向上に努められたい。また、自習スペースやWi-Fi使用状況への要望が多いことから、引き続き利用者ニーズに沿った改善を進められたい。

収支状況 コメント

令和6年度の収支状況については、光熱水費使用量の増加や人件費の高騰等により予算額を超過したため、令和5年度に引き続き赤字決算となっている。

今後も支出面での抑制に取組み、施設利用や自主事業での来館者数の増加が見込まれるよう、利用者ニーズに沿った事業を効率的に実施し、施設の適切な管理運営やサービスの向上に努められたい。

市（施設所管課）による総合評価

概ね協定事項等の水準どおり運営されている。

指定管理期間最後の1年間となり、これまで取り組んできた多種多様なイベント等の開催による事業展開や、図書サービスの充実への取り組みが実を結び、施設利用者数が増加した点が評価できる。

令和7年度以降も本施設の指定管理者となったことから、より一層の広報活動や情報発信の強化に力を入れ、図書館の特性を活かした魅力的な自主事業の展開を推進し、効率よく安定した施設運営に努められたい。

また、この間、急速にDX化が進んでいることから、電子図書館サービス等のさらなる拡充に努め、利用者の利便性の向上を図られたい。

さらに、守口文化センター及び各コミュニティセンターはもちろんのこと、学校図書館との連携を今以上に強化することで、市内全体の図書サービスの向上が図られる施設運営に努められたい。

指定管理期間第2期目においても、市民の活動拠点として、多世代の利用を促進し、活動の多様化・活性化を図りながら、市民が「集い・学び・交流する」図書館運営を期待している。

総合評価

B

総合評価区分

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった